

6月27日（火）六月の詩^し

れいわ ねんど はじ がつ
令和5年度が始まって、6月ももうすぐ
お 終わりです。なつやす ちか
夏休みも近づいてきました。
今日は、さいとうひとり ひと か
齋藤一人という人が書いた、
ろくがつ し しょうかい
「六月の詩」を紹介します。



わす
忘れてました

そら おお
空がこんなに大きいなんて

わす
忘れてました

ほし
星がこんなにきれいだなんて

わす
忘れてました

みち すみ さ
道の隅に咲くタンポポが

こんなにかわいいなんて

わす
忘れてました

かみ あい
神の愛にいつも

つつ
包まれていることを

だいじ
大事なことを、たまにわす
忘れてしまいます。わす
忘れても、いい
のです。たまに、おも だ
思い出せば。 村越 新